

第26回議会運営委員会会議記録

【開催日】 平成28年11月14日(月)

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前9時～午前9時42分

【出席委員】

委員長	大井 淳一朗	副委員長	河崎 平男
委員	石田 清廉	委員	下瀬 俊夫
委員	矢田 松夫		

【欠席委員】 なし

【委員外議員等】

議長	尾山 信義	副議長	三浦 英統
傍聴議員	中島 好人		

【事務局出席者】

事務局長	中村 聡	主査兼議事係長	田尾 忠久
庶務調査係長	島津 克則	議事係主任主事	原川 寛子

【付議事項】

1 議員研修会について

【議事の概要】

1 本会議の採決について

- ・臨時会を委員会室で開催しているため、今回の採決方法に限り、起立ではなく挙手で行うことに決定した。

2 議員研修会について

- ・委員長が議員研修会の概要について説明した。
- ・下瀬俊夫委員から「グループ研修を希望者のみにした理由は何か」との発言があった。
- ・大井淳一朗委員長から「先生から全議員対象のグループワークでは多くて見られないということだった。1グループ6人程度で通常されており、最大2グループで12人を考えている。希望をとってみないと分からないが、多ければ先生と調整したい」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「12人で2グループ作って、あとは傍聴という扱いなのか」との発言があった。
- ・大井淳一朗委員長から「1グループ1時間かかるので、2グループの設定になる」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「全員から希望があった場合、ふるいにかけるのか」との発言があった。
- ・大井淳一朗委員長から「多ければ3グループも考えられるが、1グループ当たりの時間が短くなるので先生と話はしたい」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「グループの中で一人が素材を提供して、グループ内で話を完結させるものか」との発言があった。

- ・大井淳一郎委員長から「Aグループの一人の一般質問を題材に皆で検討して完結する形になろうかと思う」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「その間、もう一つのグループは待っておくということか。そのグループだけで完結するのではなく、全体で共有する形にしたほうがいいのではないか」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「恐らく個々の一般質問の中に入り込み、丸裸にされる性質があるので、全議員というのは考えたくないのではないか」との発言があった。
- ・石田清廉委員から「グループでディスカッションした後に各グループで発表し、共通認識しないと意味がないのではないか」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「希望者だけでなく全員が参加できる方向にしないと公費を使った研修になじまないのではないか。一般市民の傍聴なども認めるべきではないか」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「今回は一般質問の在り方なので内々な感じがあるが、内容によっては一般市民に見てもらうのも必要かなと思う」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「一般質問も議会内だけのことでなく、市民の生活に関わってくる問題である。希望する人がいれば市民にも開放すべきである」との発言があった。
- ・石田清廉委員から「プログラムを見直して午前中にグループディスカッションをして、後からその問題点を中心に講師にまとめをしてもらうほうが全員参加で研修会ができるのではないか」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「午前中に総論で講演をやって、午後から各論になるので順番を変えるのはどうかと思う」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「以前受講した研修は全体の講義を受けて、午後は各議員からの疑問に講師が答えるというものだった。出された素材に対し先生が基本的な方向性を言って、グループで議論したら全員参加でできるのではないか。形式がよく分からない」との発言があった。
- ・尾山信義議長から「先生となかなか連絡が取れない中で29日までに変更するのは無理がある。午前中がメインで午後はプラスアルファという感じではないか」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「先生のやり方を見ているとほかのグループが1時間遊んでおくという無駄なことはしないのではないか」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「ほかの議会では先生以外にもアドバイザーが付いてやっているところもあるが、今回は一人しか呼べないので、一遍に二つのグループは見られない。二つグループができて後半は待つようになる」との発言があった。
- ・下瀬俊夫委員から「以前参加した同じような研修ではアドバイザーの援助はほとんどなく、各グループがいろんな議論をして全体で共有するという仕組みだった」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「今日の議論も踏まえて講師ともう一回話してみる」との発言があった。
- ・石田清廉委員から「先生の意向として研修会の所要時間の要望はあるのか」との発言があった。
- ・大井淳一郎委員長から「要望はない。後半は個別のうまいかなかった一般質問を題材に議論することで大変だけど身になると思い、このような形になった」との発言があった。

- 石田清廉委員から「研修の所要時間は通常3時間という感じがするので、午前9時から始めて3時間内にまとめる方法も考えられる。午後は受けても受けなくてもいいという曖昧な感じで、もう少しプログラムや時間帯も含めて明確にしないと出席者が出ないのではないか」との発言があった。
- 下瀬俊夫委員から「午後は具体的な問題について掘り下げるので、全く午前のものとは意味が違う。グループワークはなぜほかのグループが共有できないのか。グループでやるほうが議論が深まるのではないか」との発言があった。
- 矢田松夫委員から「講師の手法をここで議論できるのか。講師のやり方に基づいてやるしかないのではないか」との発言があった。
- 下瀬俊夫委員から「片方のグループが遊んでおくこと自体がおかしいのではないかと言っている」との発言があった。
- 事務局から「先生から1グループ6人程度で時間を一人1時間という提案があった。全員参加してほしい思いはあり、傍聴は可能ということで確認している」との発言があった。
- 事務局から「先生は1グループ6名との考えだったが、少しでも多くの議員に参加してもらいたいということでこちらから2グループを提案したものである」との発言があった。
- 大井淳一郎委員長から「議論があったことは先生ともう一度交渉してみるが、先生の考えもあるのでどうしても駄目であれば今のやり方で行いたい」との発言があった。

平成28年(2016年)11月14日

議会運営委員長 大井 淳一郎